

10階東病棟

診療科

眼科・放射線治療科・放射線診断科

病床数

41床（RI管理区域3床）

看護師数

看護師長1名、副看護師長2名、看護師名21名

主な疾患

- ・眼科：白内障、緑内障、網膜疾患、角膜疾患、眼球摘出、眼瞼下垂など
- ・放射線治療科：食道癌、肛門管癌、肺癌、甲状腺癌、舌癌など
- ・放射線診断科：肺動静脈瘤など

治療・検査

眼科では白内障、緑内障、網膜疾患、角膜疾患等の手術が1日に約10件行われています。放射線治療科では食道癌や肛門管癌、肺癌に対して化学療法や放射線治療を行っています。また、RI管理区域内では甲状腺癌や舌癌に対してI-131内服療法やAu-198組織内照射を行っています。放射線診断科ではカテーテル治療や血管内治療を行っています。

眼科では1日に約10件と多くの手術を行っており、術後視力の低下や、眼帯を装着している患者さんが多くいます。安全に歩行や日常生活ができるよう、患者さんの状態に合わせた日常生活の援助を行っています。



視力低下がある患者体験をして看護に活かしています。

術後視力低下により自宅での生活が困難になった場合は退院支援を行うことも重要です。外来とも連携し、継続的な看護を行っています。



毎日カンファレンスを行い、患者さんの情報を共有します。

看護の特徴



放射線治療科では化学療法や放射線治療による副作用症状への対応を行います。咽頭痛や飲み込みにくさがないかを確認し、栄養士と相談しながら食事形態の調整を行います。疼痛が強い場合は鎮痛剤の使用を医師へ提案したりします。放射線管理区域では、体温や血圧の測定を患者さん自身で行ってもらう必要があるため、入院前に治療中の生活について丁寧な説明が必要です。

RI管理区域内ではI-131内服療法やAu-198組織内照射を行います。